

第13回（平成8年度）井上學術賞候補者推薦要項

財団法人 井上科学振興財団

1. 候補者の対象

自然科学の基礎的研究で特に顕著な業績をあげた研究者。ただし、年齢が平成8年9月20日現在で50歳未満の研究者に限ります。

2. 学術賞

本賞：賞状及び金メダル

副賞：200万円

授賞件数は5件以内とします。

(注) 受賞者は、原則として1件につき1人とし、特に複数であることを必要とするときは、それらの研究者の寄与が同等であることを示してください。ただし、この場合についても1件として取り扱います。

3. 推薦依頼先

関係26学会、並びに当財団の役員・評議員に推薦を依頼します。

4. 推薦件数

各推薦学会または各推薦者から、それぞれ1件とし

ます。

5. 提出方法

所定の推薦書用紙に必要事項を記載し、写し2部を添えて（計3部を）当財団あてに提出願います。

6. 締切期日

平成8年9月20日（金）

7. 選考方法

当財団の選考委員会において選考し、理事会において決定します。

8. 学術賞の贈呈

平成9年2月4日（火）の予定

(選考の結果は、平成8年12月中旬に推薦者にお知らせします。)

9. 推薦書提出先及び連絡先

〒150 東京都渋谷区猿楽町11番20号

財団法人 井上科学振興財団

電話：03-3477-2738

FAX：03-3477-2747

講演企画委員会からのお知らせ—1997年度春季大会の実施要領について—

講演企画委員会では、大会講演における議論を活性化するため、実施方式の改革案を検討してきました（2月号136～137ページ参照）。その結果、理事会・講演企画委員会での議論と1996年春季大会会場における懇談会を経て、1997年の春季大会（1997年5月21～23日、筑波大学）では専門分科会とポスター発表を組み合わせた以下の方式を試行することが固まりました。

・専門分科会ごとにコンピーナーを立てる。コンピーナーはテーマの設定・プログラムの編成等、分科会の運営全般を担当する。コンピーナーは公募するが、講演企画委員会による調整を行い、理事会の承認を得る。

・分科会における講演は、充実した議論ができるよう十分な持ち時間をとる。講演は公募するが、採用の可否はコンピーナーの判断に委ねられる（不採用の場合にはポスター発表となる）。

・その他、一般の研究発表はポスターで行う。

この結果、1997年春季大会では大半の研究発表がポスターで行われることとなります。

実施方法の詳細は8月号でお知らせする予定です。またコンピーナーの公募要領も8月号に掲載します。

(1996年7月 講演企画委員会)